

ぴっくす

まちの話題



『立小野小が教育優秀校に選ばれる』

立小野小学校は、このたび、『鹿児島県へき地・小規模校教育優秀校』として表彰されました。

これは、へき地・小規模校のよさを生かした優れた教育活動を実施したことなどに対して表彰されたもので、県内で420校あるへき地・小規模校のうち5校が選ばれ、その中の1校に入りました。

この表彰は曾於郡でも初めてのことで、



子ども達が栽培している“しいたけ”

木原校長はじめ、児童達も大変喜んでいきます。

木原校長は、「地域の方々とともに学べる学校を目標に、農業体験、郷土芸能活動、豊かな心の創造という3つの柱を掲げ、地域の方々に色々なジャンルの先生になってもらい、子ども達はその“地域の先生方”からたくさんのお話を学んでいます。現在、地域の先生方は14人いますが、子ども達はその先生方からいろいろなことを教えてもらいながら活動することで、自信というものがついていくと思います。」と話されました。

『畜産で農林水産大臣賞を受賞』

西谷の藤岡数雄さん・美江子さん夫妻は、このたび、東京で開かれた『2002年度全国優良畜産経営管理技術発表会』で、大家畜部門において農林水産大臣賞（最優秀賞）を受賞しました。

この受賞は、繁殖牛の県内保留促進、段階的規模拡大などによる大規模経営の育成、効率的生産方式導入の農家の育成などによる低コスト生産が評価されたもので、藤岡さんは、「自信はなかっただけに、大変うれいしいです。今後は息子にも経営を指導していこうと思います。」と、今回の受賞を大いに喜んでいらっっしゃいます。



『民謡でリフレッシュ』

10月30日、あすばる大崎で『鹿児島県の民謡～ふるさとの心を聴く～』が催されました。

これは、8講座ある社会教育学級の中のいきいき講座の方々（高齢者学級）に呼びかけ、実現したものです。

当日は、全国的にも有名で本町の生涯学習講座講師でもある上玉利三司氏などが出演され、参加した89人の高齢者の方々は、上玉利氏らの歌声や三味線に酔いしれました。

参加者の中には、感激のあまり涙を流したり、一緒に踊ったりする場面もあり、会場内は終始にぎわいました。